TOTO

2010.8.4 D08165R

ウォシュレット® ネオレストハイブリッドシリーズ AH1・AH2・AH3 施工説明書

NEOREST HYBRID SERIES

◆"ウォシュレット"はTOTOの登録商標です。

●施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意

安全上の警告・注意事項を必ず守ってください。

⚠警告

誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意

誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

- **してはいけない「禁止」の内容です。**
- **必ず実行していただく「強制」の内容です。**

⚠警　告

水場使用禁止	浴室など湿気の多い場所には設置しない（火災や感電の原因になります。）
禁止	指定する電源（交流100V）以外では使用しない（火災や感電の原因になります。）
	電源プラグやコードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいままで使用しない（火災や感電の原因になります。）
	水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない（皮膚の炎症などを起こす原因になります。）
	給水位置の真下にコンセントを設置したり、給水ホースと電源プラグ・コンセントを接触させない（結露水などによりコンセントに水がかかり、火災や感電の原因になります。）
	車輌・船舶など、移動体への設置はしない ●火災や感電、故障の原因になります。 ●便座・便ふたなどがはずれて落下し、けがをする原因になります。
必ず守る	電源プラグは根元まで確実に差し込む（プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。）
アース接続	アース（D種接地）を確実に取り付ける（アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。）

⚠注　意

禁止	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない（本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。）
	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない（水漏れの原因になります。）
	止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない（水が噴き出します。）
必ず守る	施工は施工説明書に従って確実に行う（正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。）
	給水フィルターを取り付けるときは確実に締める（確実に締めないと水漏れの原因になります。）

取り付け前のご注意

1.製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。
2.連結ホースの先端接続部にキズを付けないようにしてください。
3.電源は交流100V（50/60Hz）、定格消費電力はAH1：1286W、AH2・AH3：1381W（ヒーター付便器の場合はAH1:1326W、AH2・AH3：1421W）です。この電力に適した配線をしているか確認してください。
4.電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
5.給水圧力範囲は0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静水圧）です。この圧力範囲でご使用ください。給水圧が低いと便器洗浄しないときがあります。
6.給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
7.同梱以外の給水ホースを使わないでください。
8.サウンドリモコンの別売品のACアダプターコードの長さは約2.8mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置してください。
9.インパクトドライバーのような強いトルクで施工しないでください。

※出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

同梱部品

リモコン部品　※標準リモコンまたはスティックリモコンのいずれかが同梱されています。サウンドリモコンはAH3のみ同梱されています。

標準リモコン

リモコン　リモコンハンガー　サウンドリモコン（AH3のみ）　乾電池（単3形×4個）

スティックリモコン

リモコン　リモコンハンガー

取付説明書付

※リモコンの盗難防止用部品が同梱されています。必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。使用しない場合は、お客様にお渡しください。

乾電池（単3形×3個）※スティックリモコンの場合は2個のみ使用します。（1個は予備）　ねじ（3本）　アンカープラグ（3本）

フレグランスセット（AH2・AH3のみ）

取付説明書　フレグランスオイルシート（8枚）　トレー（1個）

※フレグランスセットは箱のままお客様にお渡しください。

ウォシュレット本体固定具

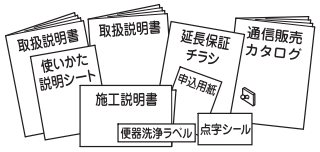
取付ボルト（2本）

化粧カバー

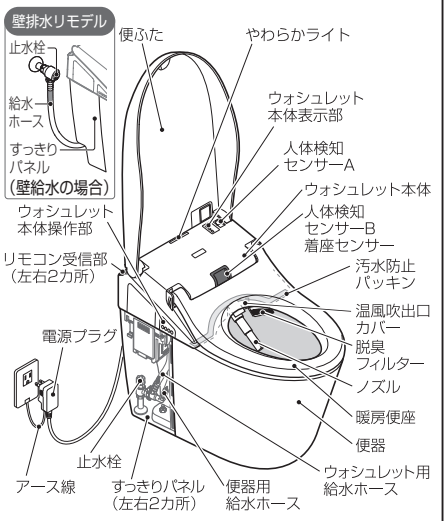
化粧カバー　塞ぎふた（ねじ付）

印刷物

取扱説明書、サウンドリモコン用取扱説明書（AH3のみ）、施工説明書（本書）、使いかた説明シート（スティックリモコンのみ）、延長保証チラシ、申込用紙、通信販売カタログ、フック（スティックリモコンのみ）、点字シール、便器洗浄ラベル



各部のなまえ



（床給水の場合）

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。（　　は本紙、　　は便器部の施工説明書を参照ください）

【便器の施工手順】（例）※便器の種類により異なる場合があります。

1. 給・排水管の取り出し
2. 止水栓の取り付け
3. 分岐金具の取り付け
4. 位置決めシートで固定穴位置をけがく
5. 固定片・排水ソケットの取り付け
6. 便器の取り付け

【ウォシュレットの施工手順】

1. ウォシュレット本体を便器に仮置きする ※便器に固定しない
2. 連結ホースと分岐金具の接続 ※試運転まで止水栓は開けないこと
3. 便器洗浄バルブ用コネクタの配線
4. ウォシュレット本体を便器に固定する
5. アース線の接続
6. 電源プラグの確認
7. リモコンの取り付け

試運転をする（作動・水漏れチェック）

すっきりパネルを取り付ける

⚠ 注意

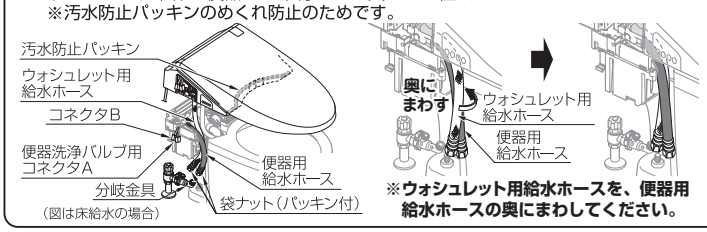
- ウォシュレット本体の給水ホースを接続する前に、便器洗浄つまみを操作しない（水が噴き出します。）
- 給水ホースをプレートの穴に通すとき、ホースが折れないように注意する（ホースが折れると水漏れの原因になります。）

取付方法

1 ウォシュレット本体を便器に 仮り置き する

注意 ※ウォシュレット本体の固定は必ず給水ホースを接続した後に行ってください。（先にウォシュレット本体を固定すると連結ホースの接続がしにくくなります。）
※製品を便器に取り付けるときに便座・便ふたを持つと、はずれることがあります。

ウォシュレット本体と便器とを平行にし、真上から置く
※汚水防止パッキンのめくれ防止のためです。



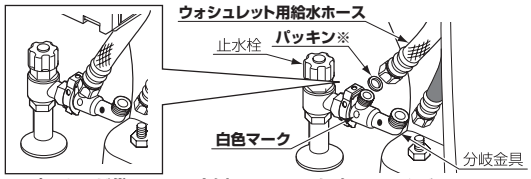
※ウォシュレット用給水ホースを、便器用給水ホースの奥にまわしてください。

2 給水ホースと分岐金具の接続

① 便器の取り付けで外向きに回転させた分岐金具を元にもどす
② 給水ホースを分岐金具に確実に差し込む
③ スパナで給水ホースの袋ナットを分岐金具に締め付ける
※パッキンが付いていることを確認してください。
※確実にセットされ、給水ホースが抜けないことを確認してください。

2-1 ウォシュレット用給水ホースの接続

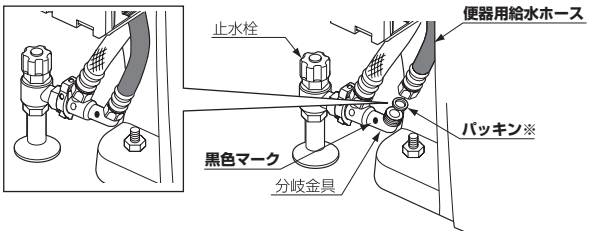
分岐金具にウォシュレット用給水ホースを接続する。
※分岐金具の白色マークとウォシュレット用給水ホースを合わせて接続してください。



※パッキンが袋ナットの内側にあることを確認してください。

2-2 便器用給水ホースの接続

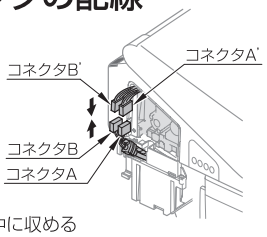
分岐金具に便器用給水ホースを接続する。
※分岐金具の黒色マークと便器用給水ホースを合わせて接続してください。



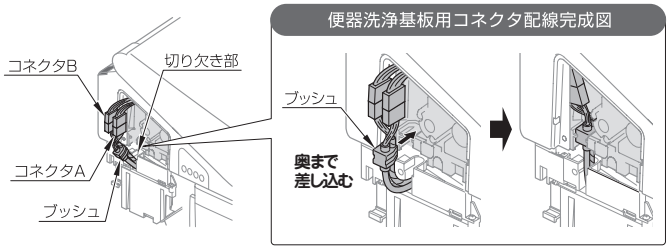
※パッキンが袋ナットの内側にあることを確認してください。

3 便器洗浄バルブ用コネクタの配線

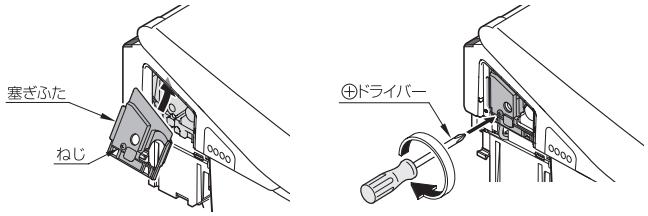
❶ 便器洗浄基板用コネクタを接続する
※コネクタを無理に引き出さないでください。
① コネクタA'、B' を引き出し、それぞれコネクタA、Bと接続する（無理に引き出さない）
※コネクタの接続が確実か再確認してください。



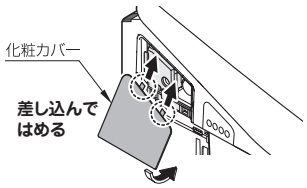
② 接続したコネクタA、Bをウォシュレット本体の中に収める
③ ブッシュを切り欠き部の溝にはめる　※ブッシュは奥まで差し込んでください



❷ 化粧カバーを取り付ける
① 塞ぎふたを斜め下から差し込み、ねじで固定する

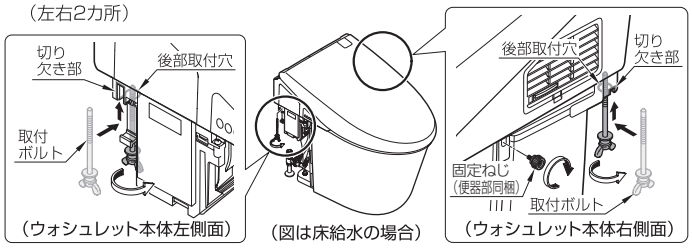


② 化粧カバーを取り付ける



4 ウォシュレット本体を便器に固定する

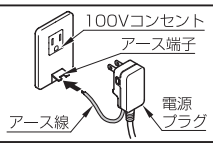
❶ ウォシュレット本体を便器に固定する
①便座・便ふたを開ける（キズ防止及び施工をしやすくするため）
②後部切り欠き部から取付ボルト先端を内側へスライドさせて、後部取付穴へ差し込む（左右2カ所）



③取付ボルトを手で締め付け、回らなくなるまで増し締めを行い、便器とズレないように確実に固定する
④ウォシュレット本体右側面を固定ねじ（便器部同梱）で締め付ける
※固定ねじは手で仮締めしたあと、ドライバーで回らなくなるまでしっかり締めつけてください。

5 アース線の接続

- アース線をコンセントのアース端子に接続する
※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。



6 電源プラグの確認

注意
- 電源プラグを入れて最初に便ふたが開くとき、障害物に当たると次から便ふたが途中で止まることがあります。（3回続けて開いた位置を記憶します。）障害物を取り除いた状態で電源プラグを一度はずしてもう一度差し込み、リモコンの「便ふた開スイッチ」を押してください。
- 電源プラグを入れてやわらかライトが約10秒～約1分間点滅した後、便器に近づくと自動で便ふたが開きます。
- やわらかライトが点滅中（人体検知センサー A 準備中）は、便ふたは「オート開」しません。
- 脱臭を始めます。

❶ 電源プラグを100V（50/60Hz）のコンセントに差し込む
- 温風吹出口カバーが開閉した後、ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認してください。

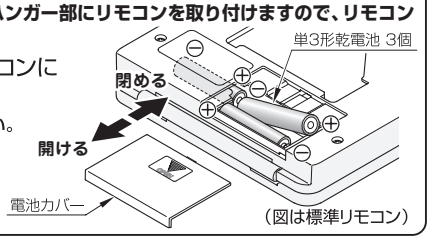
ヒータ付便器の場合（凍結のおそれがある場合のみ）
便器ヒータ用電源プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒータ用電源プラグに差し込んでください。

❷ 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する
- 「切（テスト）」ボタンを押す ➡「切表示」ランプが**点灯**する
- 「入（リセット）」ボタンを押す ➡「切表示」ランプが**消灯**する
以上のように作動すれば正常です。
- 「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
テスト後は必ず「入（リセット）」ボタンを押してください。

7 リモコンの取り付け

※AH3は、サウンドリモコンのハンガー部にリモコンを取り付けますので、リモコンハンガーは不要になります。

❶ 電池カバーを開け、リモコンに乾電池を入れる
※⊕⊖を間違えないでください。
※スティックリモコンの場合は電池を2個しか使いません。（予備1個）



7 リモコンの取り付け（つづき）

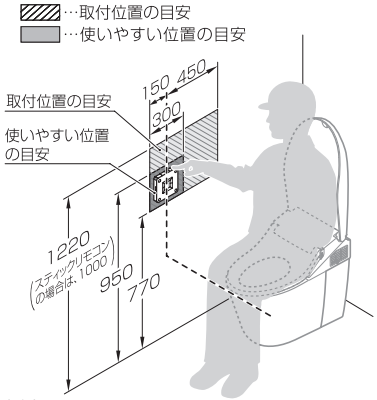
❷ 次の確認を行なってリモコンの取付位置を決める（図は標準リモコン）

【操作性の確認】
- 便座に座った状態で操作を行ない、取付位置を決めてください。

※室内の広さ、壁、材質などの条件により、リモコンの受信性能が変わることがあります。
スイッチを押してノズルが伸縮することを数回確認してください。

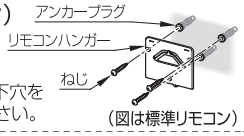
【作動の確認】
- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、下図の取付位置の目安の範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

※標準リモコンは下側に約170㎜の空間を確保してください。（リモコンカバーを開けたときの干渉防止のため）
※ サウンドリモコン（AH3のみ）の場合、左側に約20㎜の空間を確保してください。（電池交換のため）



❸ リモコンハンガー（またはサウンドリモコン）をねじで壁に取り付ける

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイルの壁の場合は、φ6深さ33㎜の下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

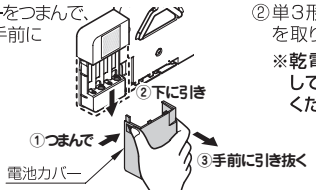


（図は標準リモコン）

スティックリモコンには盗難防止用の部品が同梱されています。
- リモコンを固定する場合に使用してください。取付方法は同梱の説明書をご覧ください。（必ずお客様のご要望を聞いてから、作業してください。）

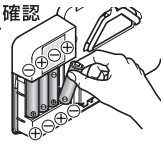
❹ サウンドリモコン(AH3のみ)【乾電池の場合】

①電池カバーをつまんで、下に引き手前に引き抜く

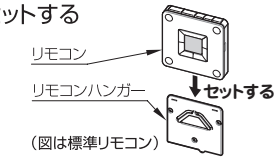


②単3形乾電池4個を入れ電池カバーを取り付ける

※乾電池は⊕⊖を確認して正しく入れてください。

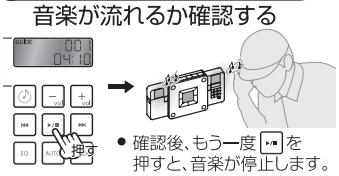


❺ リモコンをリモコンハンガー（またはサウンドリモコン）にセットする



（図は標準リモコン）

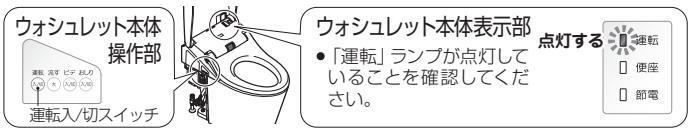
❻ サウンドリモコン（AH3のみ）音楽が流れるか確認する



- 確認後、もう一度 ▶/■ を押すと、音楽が停止します。

試運転

- 試運転の前には必ず「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。（「入」のときは「運転ランプ」が点灯します。）
「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んでもウォシュレットは作動しません。
※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

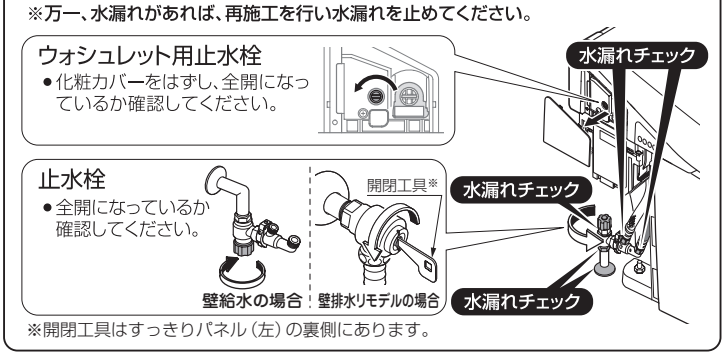


- 「運転」ランプが点灯していることを確認してください。

1 水漏れの点検

- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認します。
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認します。

※万一、水漏れがあれば、再施工を行い水漏れを止めてください。



- 化粧カバーをはずし、全開になっているか確認してください。
- 全開になっているか確認してください。

※開閉工具はすっきりパネル（左）の裏側にあります。

2 機能の確認

❶ 電源プラグを入れる

- 約10秒～約1分間やわらかライトが点滅します。（人体検知センサーA　準備中）
その間便ふたは「オート開」しません。
- 脱臭を始めます。

❷ リモコン便器洗浄機能を確認する

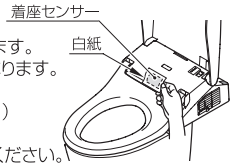
- 「リモコン便器洗浄」スイッチの大･小を押すと便器の水が流れますか?
- 一度「リモコン便器洗浄」スイッチを押すとタンクに水が溜まるまで約1分かかります。
その間はすべてのスイッチを押さないでください。
- 給水完了後、再度「便器洗浄」スイッチを押して便器洗浄の確認を行ってください。

※タンク給水中は、ウォシュレット本体操作部のランプが点滅・点灯します。

❸ オートプレ洗浄を確認する

- 「オートプレ洗浄入/切」スイッチを「入」にします。

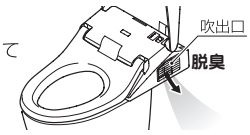
❹ 着座センサーを白紙でおおう



- 白紙でおおうと着座センサーが検知した状態になります。
検知した状態になるとやわらかライトの光が明るくなります。
またノズル付近から数秒間水が出ます。
（便座を閉めないと着座センサーははたらきません。）
- 便器ボウル面に少量の水が流れますか?
確認後、「オートプレ洗浄入/切」スイッチを「切」にしてください。

※白紙をおおっている間にウォシュレット本体表示部のランプが消えることがあります。

❺ 脱臭機能を確認する



- ウォシュレット本体右側面の吹出口より風が出ていますか？

❻ パワー脱臭機能を確認する

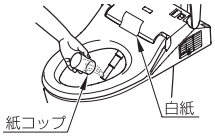
- 「パワー脱臭」スイッチを押すと脱臭音が大きくなりますか?
- もう一度、「パワー脱臭」スイッチを押すと通常の音に戻りますか?

❼ 洗浄機能を確認する

- 「おしり洗浄」「やわらか洗浄」「ビデ洗浄」スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか?

※水が出ないときは取付方法❷を確認してください。

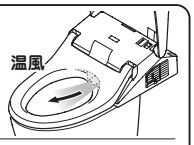
- 「水勢調節」スイッチのプラス･マイナスを押すと水勢が変化しますか?
- 「止」スイッチを押すと止まりますか?



- 吐水は紙コップなどで受けてください。

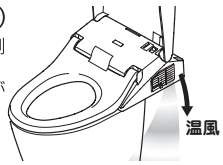
❽ 乾燥機能を確認する

- 「乾燥」スイッチを押すと温風がノズルの右側から出ますか?
- 「止」スイッチを押すと止まりますか?



❾ 室内暖房機能を確認する（AH2・AH3のみ）

- 「室暖入/切」スイッチを押すとウォシュレット本体の右側から温風が出ますか?
- 再度「室暖入/切」スイッチを押すと約10秒後に温風が止まりますか?
- 室温より設定温度が低い場合は約20秒間風が出て止まります。



❿ 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまるまで約15分かかります。

⓫ 着座センサーを白紙でおおった後、白紙をはずす

- 白紙をはずすとやわらかライトの光が少し暗くなります。

※約30秒間ノズルが少し出た状態で少量の水が出ます。

- ノズル収納後、温風吹出口カバーが少し開いて閉まります。

⓬ オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか?
- 約1分後に自動で止まりますか？

⓭ オート洗浄機能を確認する

- 便座･便ふたを開け便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約3秒後に自動で便器洗浄しますか?

※便器の水の流れが悪い場合は、給水圧が低い可能性があります。
そのときは便器部の施工説明書に従って給水圧を調べてください。

⓮ リモコン便座･便ふた開閉機能を確認する

- 「便座･便ふた開閉」スイッチを押すと便座･便ふたが開閉しますか?

⓯ オート開機能を確認する

- 約10秒後便ふたが自動で開きますか?

※便ふたが自動で開かない場合は体を動かしてみてください。

⓰ オート閉機能を確認する

- 便ふたが開いた後便座を開けてください。便器の前に6秒以上立ち、その後便器から離れると約90秒後に便座･便ふたが自動で閉まりますか?

⑰ オートサウンド機能を確認する（AH3のみ）

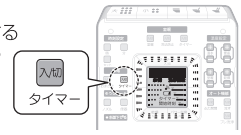
①便ふたを開いて ⏻ スイッチを「入」にする。
② AUTO スイッチを「入」にして便器の前に立つと音楽が流れますか?
③確認が終わったら再度 AUTO スイッチを押し、「切」にしてください。

⑱ 流動による凍結予防の確認をする

●次の操作により一定の間隔で水を流して凍結予防します。

①リモコンの「止」スイッチを10秒以上押す
●リモコンの表示部がすべて点滅するまで押す。

②リモコンの「節電　タイマー入/切」スイッチを押す
③リモコンの「止」スイッチを押し下記の内容を確認する
●ウォシュレット本体の「運転」ランプが点滅しますか?
●約5分後にノズルの根元から水が出ますか？
●さらに約5分後に便器洗浄しますか？



［図は標準リモコン］

④確認が終わったら再度①～③の操作を行う（凍結予防をやめます。）
●ウォシュレット本体の「運転」ランプが点滅から点灯に変わりますか?
※必ず運転ランプを点灯の状態にしてください。

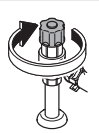
給水フィルターの掃除

● 給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

【便器側】

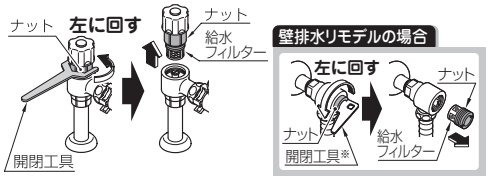
❶ 止水栓を閉めて給水を止める
●「ノズルそうじ入/切」スイッチを押し、ノズルを押出させた後、もう一度「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してください。
（給水管内の圧抜きです。）

⚠注意
止水栓を開けたままで給水フィルターをはずさない（水が噴き出します。）

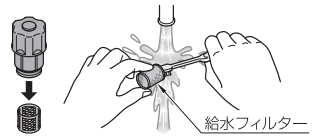
床給水の場合	壁給水の場合	壁排水リモデルの場合
 右に回して閉める	右に回して閉める	右に回して閉める 開閉工具※

※開閉工具はすっきりパネル（左）の裏側にあります。

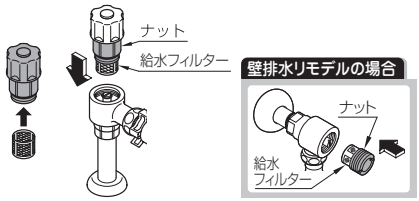
❷ 止水栓のナットを開閉工具で開けて給水フィルターを取り出す
●開閉工具は、すっきりパネル（左）の裏側にあります



❸ 給水フィルターを取り外し掃除をする
●小さなゴミは、歯ブラシなどを使って確実に取り除いてください。

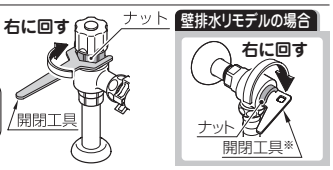


❹ 給水フィルターを元の位置に取り付ける

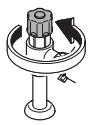
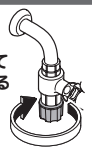
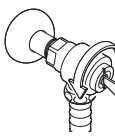


❺ 止水栓を元の位置に取り付け、ナットを開閉工具で締め付ける

⚠注意
ナットが回らなくなるまで確実に締める
● 確実に締めないと水漏れの原因になります。



❻ 止水栓を開ける
● 止水栓及び配管接続部から水漏れしていないか確認してください。

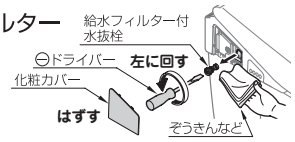
床給水の場合	壁給水の場合	壁排水リモデルの場合
 左に回して全開にする	 左に回して全開にする	 左に回して全開にする 開閉工具※

※開閉工具はすっきりパネル（左）の裏側にあります。

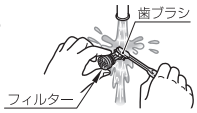
【ウォシュレット側】

❶ 止水栓を閉めて給水を止める（給水フィルターの掃除【便器側】❶項参照）

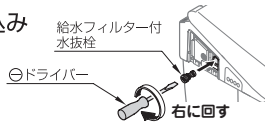
❷ 化粧カバーを取りはずし、給水フィルター付水抜栓をゆるめた後、引っ張ってはずす



❸ フィルターを水洗いして小さなゴミを取る
※ウォシュレット本体の給水フィルター付水抜栓取付穴の中のゴミも綿棒などで取り除いてください。



❹ 給水フィルター付水抜栓を押し込み確実に締める



❺ 止水栓を開けて給水フィルター付水抜栓部と給水ホースの袋ナット部からの水漏れがないことを確認する
（止水栓の開けかたは給水フィルターの掃除【便器側】❻項参照）

❻ 化粧カバーを取り付ける（③便器洗浄バルブ用コネクタの配線❷項参照）

凍結のおそれがあるときの処置（ヒータ付便器・水抜併用方式の場合）

●次の手順で水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。
お客様に引き渡されるまでに凍結のおそれがあるときは、漏水事故防止のため、次の要領で水抜きしてください。（電源プラグは差し込んだままにしてください。）

❶ 水抜栓を操作し給水を止める
● 止水栓は開けたままにしておいてください。

❷ 配管の水を抜く（給水フィルターの掃除【ウォシュレット側】❷❹項参照）

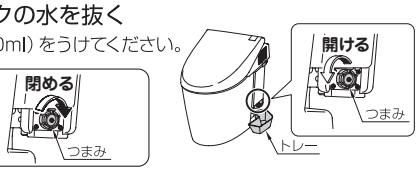
❸ ノズル内の水を抜く
①リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す
②水抜きが終わったら、もう一度「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す
（ノズルを元に戻します。）

❹ ウォシュレット内の水を抜く
①水抜きレバー（灰色）を押し続ける
● ウォシュレット本体下側から水（40ml程度）が便器内に出ます。水が完全に抜けるまで約15秒かかります。
②手を離し、水抜きレバー（灰色）を元に戻す
③化粧カバーを取り付ける
（③便器洗浄バルブ用コネクタの配線❷項参照）

❺ リモコンの「大」洗浄ボタンを押して便器洗浄する

❻ つまみを開いて、タンクの水を抜く
● 付属のトレーで水（約700ml）をうけてください。

タンクの水抜きが終わったら、つまみを確実に閉めてください。



❼ 電源プラグを抜く

❽ 便器内の溜水を処置する

工事店様へ

● 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、下記手順で大洗浄5.5L（小洗浄4.5L）仕様を大洗浄8L（小洗浄6L）仕様としてお使いいただけます。
①ウォシュレット本体操作部の「運転」スイッチを押し「切」にする
● ウォシュレット本体操作部のランプが全て消灯します。
②ウォシュレット本体操作部の「流す」スイッチを10秒以上押し続ける
● ピッと音が鳴れば設定完了です。
（元の仕様に戻す場合は同じ操作を行い、ピーッと鳴ることを確認してください。）
③設定後は「運転」スイッチを「入」にしてください。
● 開閉工具は施工後もとの位置に取り付けてください。
● スティックリモコン用の盗難防止用部品を使用しない場合は、お客様にお渡しください。
● 使用しない乾電池は、工事完了後お客様にお渡しください。
● 取扱説明書の最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、お客様にお渡しください。
● ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。
新築などでお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いてください。
● 連立対応について（URL）http://buhin.toto.co.jp/「施工方法」の欄「ウォシュレット施工方法（リモコン連立対応など）」をご覧ください。